令和6年度版『ひろがる言葉 小学国語 五・六年』複式学級年間指導計画（案）

単元・教材のねらいと、「学習指導要領」に示された「指導事項」「言語活動例」から、あてはまるものを表示。重点指導事項には、◎を付した。

△知識・技能 思考・判断・表現（◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと） ※複式学級や小規模校に関わる配慮事項

〔第5学年及び第6学年〕目標（「学びに向かう力、人間性等」の単元目標）

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

「年間指導計画作成に係る配慮事項」

○単元に位置づいている言語活動を吟味し、類似している単元配列をそろえることで、学習活動や学習成果の共有が一緒にできるように配慮している。

○読書活動を行う単元を同時期に扱えるように配列することで、学校図書館での授業がしやすいように配慮している。

		五年				六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
4	2 (話す聞く2)	何を知りたいのかを考えてしつもんしよう 見つけたよ！ 教科書：P8 ◇自分が聞こうとする意図に応じて、知りたいことは何かを考えて質問をし、自分の考えをもつ。	話聞	第1時 1. 学習の見直しをもつ。 2. ゲームのやり方を確認する。 3. カードを配布し、ゲームをする。 第2時 4. カードを配り直して、ゲームを何回か行う。 5. 学習を振り返る。 ※人数によっては、他の学年の児童に協力してもらったり、架空の同級生を加えたりするなど、工夫する。	【知識・技能】 ◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(1)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。(A1)工) 【態度】 ・進んで、自分が聞こうとする意図に応じて、知りたいことは何か考えて、学習課題にそって質問をし、自分の考えをもとうとしている。 【言語活動例】 ・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動(A2)イ)	2 (話す聞く2)	質問に答えるかたちで自分のことを話そう 自分との対話 教科書：P8 ◇自分のことを客観的に捉えて話す。	話聞	第1時 1. 学習の見直しをもつ。 2. クラスのみんなに聞いてみたい質問を出し合い、自分のことを話す活動であるということを確認する。 3. みんなへの質問をカードに書く。 4. カードを引いて、質問を決める。 5. 質問にどう答えるか考える。 第2時 6. グループで発表する。 7. 感想を伝え合う。 8. 学習の振り返りをする。 ※人数によっては、他の学年の児童に協力してもらったり、架空の同級生を加えたりするなど、工夫する。	【知識・技能】 ◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(1)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討してる。(A1)ア) 【態度】 ・積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。 【言語活動例】 ・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。(A2)ア)

五年					六年					
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1	楽しく声に出して読もう 水平線/うぐいす 教科書：P10 □目や耳で捉えた世界の感じ方を想像しながら詩を読む。	読む	1. 学習の見通しをもつ。 2. 『水平線』を音読する。 3. 「ある」の繰り返しを声に出して読み、耳で聞くことでどう感じるかを交流する。 4. 「水平線」という言葉から感じられることを話し合う。 5. 『うぐいす』を音読する。 6. 「すきとおる」と感じた作者の耳の傾け方を想像して、作者が気づいたり感じたりした周りの様子を話し合う。 7. うぐいすの声の響き、鳴き声と情景などの広がり、間や声の調子に気をつけて音読する。 ※グループをつかって話し合う際は、学級の実態に応じて、人数に配慮する。 ※6年生に音読を聞かせて、意見をもらう。	【知識・技能】 ◎ 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク ◎ 文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)エ 【態度】 ・ 進んで詩の目や耳で捉えた世界の感じ方を想像し、学習の見通しをもって言葉の響きに気をつけながら、音読しようとしている。 【言語活動例】 ・ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ	1	楽しく声に出して読もう 風景 純銀もざいく 教科書：P10 □繰り返し声の響きや意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。 ☆学習用語：音読/詩	読む	1. 学習の見通しをもつ。 2. 『風景 純銀もざいく』を音読する。 3. 音読して気づいたことや気になったことをグループで話し合い、詩の表す世界について、意見交流する。 ※グループをつかって話し合う際は、学級の実態に応じて、人数に配慮する。	【知識・技能】 ◎ 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク ◎ 文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)エ 【態度】 ・ 進んで言葉の意味を考え、繰り返し声の響きや意味に気をつけて音読しようとしている。 【言語活動例】 ・ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ

		五年				六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	7 (書く2)	一 登場人物のしんじょうを そうぞうして読もう いつか、大切なところ 教科書：P14 □■登場人物の心情の移り変 わりを考えながら読む。 ★ここが大事：しんじょうを 読む ☆学習用語：情景／心情／中 心人物／登場人物／題名／擬 音語／擬態語／作者／対句／ 倒置／反復／比喩	読む	第1時 <見通しをもとう> 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 <たしかめよう> 2. 登場人物と中心人物を確認し、中心人物の心情の変化について考 える。 (1)登場人物と中心人物を確認する。 (2)中心人物である亮太の心情が、物語の中でどのように変化したかを 確認する。 第2～4時 <くわしくよもう> 3. 揺れ動く亮太の心情について、工夫してノートにまとめる。 第5時 <まとめよう> 4. 題名「いつか、大切なところ」について、亮太にとっての意味を 心の動きを手がかりに考える。 第6時 <つたえあおう> 5. 題名「いつか、大切なところ」について考えたことを共有する。 第7時 <ふり返ろう> 6. 学習を振り返る。 (1)登場人物の心情の変化を想像するときに、どのような言葉に着目し たか振り返る。 (2)題名の意味を考えてみたい物語があるか振り返る。	【知識・技能】 ◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いて いる。(I1)ク 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、登場人物の相互 関係や心情などについて、描写を基に捉え ている。(C1)イ ○「読むこと」において、人物像や物語な どの全体像を具体的に想像したり、表現の 効果を考えたりしている。(C1)エ ○「書くこと」において、引用したり、図 表やグラフなどを用いたりして、自分の考 えが伝わるように書き表し方を工夫してい る。(B1)エ 【態度】 ・進んで物語の全体像を具体的に想像し、 学習の見通しをもって登場人物の心情の移 り変わりを考えながら読もうとしている。 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明 したり、自分の生き方などについて考えた ことを伝え合ったりする活動。(C2)イ	2	一 情景描写に着目して感想 を話し合おう あの坂をのぼれば 教科書：P14 □情景描写に着目して登場人 物の心情の変化を想像し、物 語の読みを深める。 ★ここが大事：物語の読みを 深める ☆学習用語：文／言葉／漢字 ／物語／登場人物／情景／作 者	読む	第1時 <見通しをもとう> 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 <たしかめよう> 2. 登場人物の心情がどのように変化したのかを考える。 <くわしくよもう> 3. 繰り返される「一あの坂をのぼれば、海が見える。」に表れてい る心情について情景描写などに着目しながら考え、話し合う。 第2時 <まとめよう> 4. すてきだと思う情景描写について、感想をまとめる。 <つたえあおう> 5. まとめたものを伝え合う。 <ふり返ろう> 6. 学習を振り返る。 (1)登場人物の心情を想像するときに、どのようなことを意識したか振 り返る。 (2)友達の考えて、「なるほど」と思ったものはどのようなものが振り 返る。 【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章 の中で使うとともに、語句と語句との関 係、語句の構成や変化について理解し、語 彙を豊かにしている。また、語感や言葉の 使い方に対する感覚を意識して、語や語句 を使っている。(I1)オ ○文の中での語句の係り方や語順、文と文 との接続の関係、話や文章の構成や展開、 話や文章の種類とその特徴について理解し ている。(I1)カ 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、登場人物の相互 関係や心情などについて、描写を基に捉え ている。(C1)イ ○「読むこと」において、人物像や物語な どの全体像を具体的に想像したり、表現の 効果を考えたりしている。(C1)エ 【態度】 ・進んで情景描写に着目して読み、学習の 見通しをもって感想を話し合おうとしてい る。 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明 したり、自分の生き方などについて考えた ことを伝え合ったりする活動。(C2)イ	

		五年				六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						3 (書く3)	図に表して整理しよう 考えを図や表に 教科書：P22 ■目的や意図に応じて、考えや意見を図に書き出して、関係づけたり比較したりすることができる。 ☆学習用語：課題／情報／インターネット／比べる／共通点／相違点	書く	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 教科書を読んで、考えを広げたり、まとめたりする際には、いろいろな図があることを知り、学習の見通しをもつ。 第2時 2. 実際に考える図を使ってみる。(随筆や意見文を書く際に使う。) 第3時 3. どのように考えをまとめたか友達と交流する。 ＜ふり返ろう＞ 4. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B1)ア) 【態度】 ・粘り強く伝えたいことを明確にしようとし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B2)ア)
5	4 (書く1)	情報の宝箱 新聞を読もう 教科書：P32 □■新聞の仕組みを知り、それをもとに同じ出来事を扱った新聞記事を読み比べたり、内容や見出し、写真などについて気づいたことを発表し合ったりする。 ☆学習用語：記者／逆三角形の構成／本文／マスメディア／見出し／要点／リード（前文）／解説／コラム／トップ記事／評論文／割り付け	読む	第1時 1. 学習の見通しをもって本文を読み、新聞の仕組みや内容への興味・関心を高める。 2. 新聞の仕組みを理解する。 (1)新聞の特長や新聞記事の構成、見出しやリードなどの用語を知る。 (2)図や写真などの載せ方や配置(割り付け)について確認する。 第2時 3. 新聞の内容や構成を比べ、違いについて考える。 (1)新聞の内容や興味のある記事について伝え合う。 (2)新聞の構成について、図や写真の載せ方や配置(割り付け)を中心に比べる。 第3時 4. 同じできごとを扱った新聞記事を読み比べ、内容や見出し、写真などについて気づいたことを話し合う。 第4時 5. 新聞についてわかったことをまとめ、互いの考えを共有しながら学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ) ◎「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C1)ア) ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(C1)ウ) 【態度】 ・進んで新聞の仕組みを知り、これまでの学習を生かして新聞記事を読み比べたり、内容や見出し、写真などについて考えたことを話し合おうとしている。	4 (書く1)	言葉の文化① 1) 春はあけぼの 教科書：P24 △□■『枕草子』の文章にふれ、リズムや響きを味わいながら音読し、『枕草子』ふうの文章を書く。	文化	第1時 1. P24を読み、教材の概略をつかみ、学習の見通しをもつ。 2. 教科書P29を読んで、学習の見通しをもつ。 3. 教師の範読に合わせて読み、リズム等をつかんで、原文を繰り返して音読する。 第2・3時 4. 各「季節」の情景をイメージする。 5. 好きな「季節」の文章を、大意を参照しながら、何度も音読する。 第4時 6. 自分の感じる季節感を『枕草子』ふうに書いて、交流する。	【知識・技能】 ◎親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B1)カ) ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1)イ) 【言語活動例】 ・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B2)ウ) 【態度】 ・進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書こうとしている。

五年					六年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
					【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア) ・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C(2)ア) ・学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。(C(2)ウ)					
	3 (書く3)	情報を集めて整理しよう 情報ノート 教科書：P38 ■興味をもったり、疑問に思ったりしたことについて、情報を集めて「情報ノート」を作る。 ☆学習用語：情報／資料／新聞／出典／見出し	書く	第1時 1. 情報ノートを作る目的と意味を理解し、学習の見通しをもつ。 第2・3時 2. 情報を集める。 (1)「興味のあること」「疑問に思ったこと」を出し合い、どんな情報を集めたらよいか考える。 (2)さまざまな情報を集めた中から、情報ノートに残したい情報を選ぶ。 3. 使う情報を選び、「情報ノート」を作る。 4. 学習を振り返る。 ※6年生に、昨年つくった情報ノートを見せてもらうとよい。	【知識・技能】 ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・積極的に文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って感じたり考えたりしたことについて情報を集めて「情報ノート」を作ろうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)	2	言葉の広場① 主語と述語の対応をかくにんしよう 教科書：P30 △主語と述語の対応を確認して、文のねじれに気づき、正しく直す。 ☆学習用語：主語／述語／文／伝える／漢字／文章	言語	第1時 1. 学習の見通しをもつ。 2. 冒頭の会話文を通して、文を見直す際に主語と述語の対応を確認する大切さを知る。 3. 教科書の例文を読み、どのように直せば主語と述語が対応するか理解する。 第2時 4. ねじれ文を修正することで、主語と述語の対応について理解を深める。 5. 文章を書くときに、主語と述語の対応をよく確認しているか振り返る。 6. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ) 【態度】 ・積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。

		五年					六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	1	漢字の広場① 漢字学習ノート 教科書：P40 △新しく学ぶ漢字や既習の漢字を取り立て、音訓・意味・使い方などを調べて漢字学習ノートを作る。	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 「漢字学習ノート」にまとめる手順を理解する。 3. P40を参考にして、既習漢字の中の一字について、読み方・意味・使い方などを調べ、短文を考えて、「漢字学習ノート」に書き、まとめる。 ①読み方：音訓ともに扱う ②意味：訓読みから類推する。 ③字形：字の構成に着目する。 ④使い方：意味ごとに言葉を集める。 ⑤短文作り：その漢字を使って短文を作り、発表し合う。 4. 「漢字学習ノート」に書いた使い方と短文をそれぞれ発表し合う。 5. 「豆知識」コーナーの具体例を知り、その中から一つ選び、作ってみる。 ※6年生に、昨年書いた漢字学習ノートを見せてもらうとよい。	【知識・技能】 ◎文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。(1)ウ) ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって「漢字学習ノート」を作ろうとしている。	6 (話す聞 く6)	三 立場を明確にして主張しよう パネルディスカッション—地域の防災 教科書：P52 ◇意見の違いを大事にしなが ら話し合い、考えを深める。 ★ここが大事：立場を決めて 話し合う ☆学習用語：立場/討論/パ ネラー/パネリスト/パネル ディスカッション/フロア/ 主張/要点/共通点/相違点	話聞	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元名やリード文を読み、立場を明確にして話し合うことについて考え、学習の見通しをもつ。 ＜決めよう・集めよう＞ 2. 立場を決め、くわしく調べる。 (1)教科書を読み、パネルディスカッションの意図と進め方を知る。 (2)自分たちが話し合うテーマを設定する。 第2・3時 ＜組み立てよう＞ 3. 資料をもとに主張を組み立てる。 (1)自分たちが設定したテーマにそって、パネルディスカッションの準備を行う。 第4・5時 ＜話そう・聞こう＞（重点） 4. パネルディスカッションを行う。 ※学級の人数によって、パネルディスカッションに5年生も参加する。 他校の学級と一緒にリモートで行うことも考えられる。 第6時 ＜伝え合おう＞ 5. 感想を伝え合う。 ＜ふり返ろう＞ 6. 学習を振り返る。 ※5年生の単元「三 伝わるように構成を考えよう」と同時期に実施することも考えられる。	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが ら計画的に話し合い、考えを 広げたりまとめたりしている。(A1)オ) 【態度】 ・意見の違いを大事にしなが ら粘り強く話し合い、学習の見通し をもって考えを深めようとしてい る。 【言語活動例】 ・それぞれの立場から考えを 伝えるなどして話し合う活動。(A2)ウ)	

五年					六年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1 (書く1)	四年生で学んだ漢字① 教科書：P42 △ ■絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	漢字	第2時 6. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。 7. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。 8. 作った文を互いに発表し合う。 9. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)					
	1	二 事例と解説をもとに筆者の考えを読みとこう ことなる見方 教科書：P44 □異なる見方についての事例と解説を読み、見方の違いに気づくことが分かり合うための第一歩だという筆者の主張に関心をもつ。 ☆学習用語：事例／解説／主張	読む	<見通しをもとう> 1. 単元扉を読み、学習の見通しをもつ。 2. 同じできごとの話を聞いたのに、人によって別のできごとのように感じた経験について、伝え合う。 3. 図形的事例やその説明を読み、「事例」と「解説」の意味を理解する。 4. 筆者の主張についてどう思うか、話し合う。	【知識・技能】 ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) 【態度】 ・積極的に事例と解説に気をつけながら文章を読み、学習の見通しをもって、異なる見方や筆者の主張について考えようとしている。 【言語活動例】 ・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C(2)ア)					

		五年				六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
6	7 (書く2)	二 事例と解説をもとに筆者の考えを読みとごう 言葉と事実 教科書：P46 □■言葉と事実に関する事例と解説をもとに、筆者の考えを読み解くとともに、それに対する自分の考えを書き、事実を捉える際の言葉の働きについて考えを深める。 ★ここが大事：事例と解説 ☆学習用語：事実／事例／主張／解説	読む	第1時 <たしかめよう> 1. 学習の見通しをもつ。 2. 「事実」について考え、事例について整理する。 (1)本文を読み、「事実」とはどのようなことだと思いか伝え合う。 (2)三つの事例から、言葉と事実について、起こったこと、大切なこと・必要なことについて表にまとめる。 第2・3時 <くわしくよう> 3. 整理した表をもとに、三つの事例のつながりについて考え、筆者が事例と解説を通して「言葉」と「事実」がどのような関係にあると述べているか、話し合う。 第4・5時 <まとめよう> 4. 言葉で事実を表すことについて、自分の考えをまとめて書く。 第6時 <つたえあおう> 5. 言葉で事実を表すことについての考えを発表し合い、言葉と事実の関係や事例に気をつけながら話し合う。 第7時 <ふり返ろう> 6. 筆者の考えの読み取る活動や、言葉と事実の関係について自分の考えをまとめる活動で、どのようなところに気をつけたのか振り返る。	【知識・技能】 ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ◎「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ) 【態度】 ・学習の見通しをもって事例と解説に気を付けながら粘り強く筆者の論の進め方について捉え、言葉と事実の関係について考えようとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア) ・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C(2)ア)	1 (話す聞く 1)	二 文章と資料をあわせて読み、筆者の考えをとらえよう 1) アイスは暑いほどおいしい?— —グラフの読み取り 教科書：P36 □◇グラフについての説明を活かしてグラフを読み取り、全体の傾向や変化について説明する。 ☆学習用語：グラフ／傾向／最大値／最小値／変化	読む	<見通しをもとう> 1. 単元名やリード文を読んで、学習の見通しをもつ。 2. グラフについての説明を読んで、グラフの構成要素を理解する。 3. 「気温とアイス・シャーベット支出額」のグラフを読み取り、全体の傾向や一年間の変化について話し合う。	【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ○「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 【態度】 ・進んでグラフの意味や構成要素を理解しようとし、これまでの経験を生かし、どのような傾向や変化が読み取れるか、考えようとしている。 【言語活動例】 ・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C(2)ア)

五年					六年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						6 (書く2)	<p>二 文章と資料をあわせて読み、筆者の考えをとらえよう</p> <p>雪は新しいエネルギー——未来へつなぐエネルギー社会</p> <p>教科書：P38</p> <p>□■雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係について、文章と資料を合わせながら読み、筆者の説明の仕方について考えをまとめる。</p> <p>★ここが大事：筆者の説明の工夫をとらえる</p> <p>☆学習用語：課題／事実／筆者／段落／事例／文章／説明／結果／理由／分析</p>	読む	<p>第1時 ＜たしかめよう＞ 1. 学習の見通しをもつ。 2. 本文を読んで、問いかけと筆者の主張について考える。 (1)筆者の問いかけについて、なぜ、化石燃料にたよらない社会をつくる必要があるのか、その理由について話し合う。 (2)筆者の問いかけに対する考えを探し、伝え合う。</p> <p>第2時 ＜くわしくよもう＞ 3. 筆者が問いかけに対する考えを述べるために、どのような事例を示しているのか、文章と資料をあわせて読みながら考える。</p> <p>第3・4時 ＜まとめよう＞ 4. 筆者の説明の仕方の工夫について考え、ノートにまとめる。</p> <p>第5・6時 ＜つたえあおう＞ 5. 筆者の説明の仕方について、考えを紹介し、感想を伝え合う。 ＜ふり返ろう＞ 6. 文章と資料を結びつけて読む時や自分の考えを人に伝える時に、どのようなことに気をつけるとよいか、振り返る。</p>	<p>【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ◎「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)</p> <p>【態度】 ・今までの学習を生かして、筆者の主張と取り上げた事例の関係について、文章と資料を合わせながら粘り強く読み、筆者の説明の仕方について考えをまとめようとしている。</p> <p>【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア) ・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C(2)ア)</p>

		五年					六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	2	言葉の広場① 話し言葉と書き言葉 教科書：P56 △話し言葉と書き言葉の特徴の違いについて理解したり、場に応じた言葉の選び方の違いや表現の仕方の違いについて理解したりする。 ☆学習用語：書き言葉／話し言葉	言語	第1時 1. 「話し言葉と書き言葉」について学ぶという学習内容を理解して、学習の見通しをもつ。 2. 話し言葉と書き言葉を比べて、それぞれの特徴や性質の違いなどについて確かめる。 第2時 3. 「話し言葉のとくちょう」と「書き言葉のとくちょう」を見て、話し言葉と書き言葉の違いを確かめる。 4. 「話し言葉のとくちょう」と「書き言葉のとくちょう」としてあげられているものが、実際にどのようなかたちで現れるか、具体的な場面を考えて発表する。 5. 話し言葉と書き言葉の特徴について考え、日常の言語生活でも気をつけて話したり、書いたりしていくよう話し合う。 6. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。(1)イ 【態度】 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って自身の言語生活を振り返って考えようとしている。	1 (話す・聞く) 漢字の広場① 三字以上の熟語の構成 教科書：P32 △◇三字以上の熟語の構成について理解を深め、由来に関心をもつ。 ☆学習用語：構成／熟語／漢字／話し合う／言葉	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 「少人数」「保健室」「身体測定」という熟語の意味を考える。 3. P32の説明にそって、三字と四字の熟語の構成について知る。 4. 辞典を利用して、三字と四字の熟語を集め、その構成を考え、ノートにまとめ、発表し合う。 5. 切れ目に「/」を入れて、三文字以上の熟語の構成について話し合う。 6. 三字の熟語における結びつき方を考える。 7. 略語と、略す前の熟語とを比べる。	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)工) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当てられている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心をもち調べようとしている。		
	4 (話す聞く) 4)	三 伝わるように構成を考えよう すいせんしよう「町じまん」 教科書：P58 ◇相手が納得するように、事実と考え、感想を区別した構成を工夫して、発表する。 ★ここが大事：聞き手がなつとくするような構成で話す ☆学習用語：推薦／課題／聞き手／経験／構成／メモ／理由／結論／ポスター	話聞	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元名や教材名から、本単元の目標や活動をつかむ。 (1)聞き手が納得するように、構成を考えて話す力を伸ばすことを確認する。 ＜決めよう・集めよう＞(重点) 2. 自分が推薦するものを決めて、その特徴について調べる。 (1)自分の住む町の自慢できるものを集める。 (2)自分が推薦したいものを選ぶ。 (3)自分が推薦するものの特徴について調べ、気づいたことをノートやワークシートにまとめるようにする。 第2時 ＜組み立てよう＞(重点) 3. 聞き手が納得するような構成を考える。 (1)P59下段に示された構成(始め方、理由の述べ方、終わり方)を例にどのような工夫をすればよいか考える。 (2)発表の練習をする。 第3時 ＜話そう・聞こう＞ 4. 発表会を開く。 ※学級の人数によって、発表会に6年生も参加する。他校の学級と一緒にリモートで行うことも考えられる。 ＜伝え合おう＞ 5. 感想を交流する。	【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ◎「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) 【態度】 ・粘り強く、聞き手が納得するように事実と感想、意見を区別して話の構成を考え、学習課題に沿って発表しようとしている。 【言語活動例】 ・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。(A(2)ア)	1 (書く) 1) 五年生で学んだ漢字① 教科書：P34 △■絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。 ☆学習用語：漢字／言葉／様子	漢字	第2時 8. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。 9. 5年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。 10. 互いの作った文を読み合い、感想や意見を述べ合う。 11. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当てられている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)		

五年					六年					
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
				第4時 <ふり返ろう> 6. 学習の振り返りをする。 ①どんな点に注目して「町自慢」を選んだか。 ②聞き手が納得するような発表にするために、どんな構成の工夫を考えたか。 ※6年生の単元「三 立場を明確にして主張しよう」と実施時期を入れ替えて行うことも考えられる。						
						1 (書く 1)	言葉の文化② 雨 教科書：P62 △■「雨」を扱った言語表現を集め、日本語の豊かさに気づく。	文化	1. 学習の見通しをもつ。 2. 教科書の文章から「雨」を取り上げた言語表現を知り、その背景を考える。 3. さまざまな言語表現を、辞典などで調べたり、これまで読んだ本の描写を思い出して確かめたりしながらノートに書く。	【知識・技能】 ◎ 語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3ウ) 【思考・判断・表現】 ○ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・ 粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。 【言語活動例】 ・ 短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)イ)

		五年				六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						2 (話す 聞く 1)	言葉の広場② 世代による言葉のちがひ 教科書：P64 △◇世代による言葉遣いのちがひについて理解し、相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使うことができるようにする。 ☆学習用語：世代による言葉のちがひ／様子／場面	言語	第1時 1. 世代によって使用する言葉に違いがあることもあるということを知り、学習活動に対する見通しをもつ。 2. 言葉には、年上の世代の人たちには使われていたが、今はほとんど使われなくなったものがあるということについて理解する。 3. 言葉には、自分たちの世代にしか通用しないものもあるということを理解する。 4. 言葉には、人が成長する過程で一時的に用いられるものもあるということを知る。 第2時 5. 家の人に行ったインタビューの内容をグループでまとめて確かめよう。 6. 世代によって使われる言葉の違いや、普段友達どうして話しているときに使ってしまうくだけた表現の言葉について、クラス全体で話し合う。 ※学級の人数によっては、他校の児童とリモートで交流することも考えられる。 7. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎ 語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3ウ) 【思考・判断・表現】 ○ 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ) 【態度】 ・積極的に世代による言葉遣いの違いについて理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。 【言語活動例】 ・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。(A(2)イ)
						1 (話す 聞く 1)	漢字の広場② 複数の意味をもつ漢字 教科書：P66 △◇複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味に関心をもつ。 ☆学習用語：象形文字	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 「象」という漢字の意味を考える。 3. P66を読み、「象」という漢字には、もとからの意味と、派生した意味をあわせもっていることを知る。 4. 「布」「針」を使ったそれぞれの熟語がどのような意味で使われているかを話し合う。 5. P67下段の設問に取り組み、傍線の漢字がそれぞれどのような意味で使われているかを考え、違いを話し合い、辞典で調べる。	【知識・技能】 ◎ 語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3ウ) 【思考・判断・表現】 ○ 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。

		五年					六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
7	5 (書く5)	三 伝わるように構成を考えよう 案内やしようかいのポスター 教科書：P62 ■構成や表現を工夫して、ポスターを作る。 ★ここが大事：相手や目的、内容に合わせた構成を考える ☆学習用語：構成／ポスター／見出し／読み返す／割り付け	書く	第1時 <見通しをもとう> 1. 「学習の進め方」を読んで、学習の見通しをもつ。 <決めよう・集めよう> 2. 伝えたい内容や相手を決め、取材する。 第2時 <組み立てよう>(重点) 3. ポスターの構成を考える。 第3時 <書こう> 4. 表現を工夫して、ポスターを作る。 第4時 <読み返そう> 5. 読む人に伝わりやすいポスターになっているか、読み返す。 第5時 <伝え合おう> 6. ポスターを読み合い、感想を伝え合う。 ※学級の人数によっては、6年生に見てもらい助言を述べてもらうことも考えられる。 <ふり返ろう> 7. 構成や表現をどのように工夫して、ポスターを作ったか振り返る。 ※6年生の単元「三 立場を明確にして主張しよう」と実施時期を入れ替えて行うことも考えられる。	【知識・技能】 ◎話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。(1)イ 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B1)イ 【態度】 ・進んでポスター全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって構成や表現を工夫して、ポスターを作ろうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B2)ア)	1 (書く1)	五年生で学んだ漢字② 教科書：P68 △■絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	漢字	第2時 6. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。 7. 5年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。 8. 互いの作った文を読み合い、感想や意見を述べ合う。 9. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B1)イ 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B2)ア)	

		五年				六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						4 (書く4)	三 立場を明確にして主張しよう みんなで作ろうパンフレット 教科書：P58 ■相手や目的に応じて内容や構成を考え、パンフレットを作る。 ★ここが大事：パンフレットで知らせる ☆学習用語：パンフレット/パネルディスカッション/立場/構成/アンケート	書く	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 教科書を読み、どのようにパンフレットを作るのかイメージし、学習の見通しをもつ。 ＜決めよう・集めよう＞ 2. ちがう立場の人どうしてグループになり、知らせたい内容を話し合う。 第2時 ＜組み立てよう＞ 3. 書く分担を決め、構成を考える。 第3時 ＜書こう＞(重点) 4. パンフレットを作る。 ＜読み返そう＞ 5. おたがいの文章を読み返す。 第4時 ＜伝え合おう＞ 6. パンフレットを読み合う。 ＜ふり返ろう＞ 7. 知らせたいことや読む人のことを考えて、わかりやすいパンフレットを作るために、どんな工夫をしたか振り返る。 ※5年生の単元「三 伝わるように構成を考えよう」と同時期に実施することも考えられる。	【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ) 【態度】 ・積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B2)ア)

五年					六年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	3 (書く 1)	言葉の文化① 漢文に親しむ 教科書：P66 △■現代の言葉とは異なる漢文のリズムや響きを読み味わう。 ☆学習用語：漢文／漢詩	文化	第1時 1. 学習の見通しをもつ。 2. 『春暁』の情景を思いうかべ、リズムを感じながら音読する。 第2時 3. 『静夜思』の情景を思いうかべ、リズムを感じながら音読する。 第3時 4. 『論語』と『大学』にこめられた昔の人のものの見方や感じ方について考えたことをノートに書く。 5. 感想をまとめる。	【知識・技能】 ◎文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ ◎親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ) 【態度】 ・積極的に現代の言葉とは異なる漢文のリズムや響きを理解し、今までの学習を生かして漢文を読み味わいながら音読しようとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B2)ア)	7 (話す聞 く2)	四 表現が読み手にあたえる効果について考えよう 川とノリオ 教科書：P70 □◇優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、優れた表現についての感想を話し合う。 ★ここが大事：すぐれた表現を読む ☆学習用語：擬人法／体言止め／比喻／情景／心情／朗読	読む	第1時 <見通しをもとう> 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 第2・3時 <たしかめよう> 2. いつどんなできごとが起こったかに気をつけて読み、印象に残った場面を紹介し合う。 第4時 <くわしくよもう> 3. 「比喻」「色」「体言止め」「擬人法」「音や様子」「くり返し」などの表現を探し、その効果について話し合う。 第5・6時 <まとめよう> 4. 表現の効果を考えながら、心に残った場面について、自分の考えたことが伝わるように朗読する。 第7時 <つたえあおう> 5. 心に残った表現について感想を話し合う。 ・物語の中で、特に心に残った表現 ・ノリオの心情の変化を、具体的でわかりやすく表している表現 ・自分では、思いつかないような表現 <ふり返ろう> 6. 学習を振り返る。 (1)物語の世界を想像するときには、どのような表現に着目したいか考える。 (2)朗読して伝えたい他の物語はあるか考える。	【知識・技能】 ◎比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク ◎文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C1)イ) ◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)エ) ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C1)オ) ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1)カ) ○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A1)オ) 【態度】 ・進んで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ)
	2	言葉の広場② 敬語 教科書：P70 △敬語のはたらきと種類を理解して、正しく使う。 ☆学習用語：敬語／謙譲語／尊敬語／丁寧語	言語	第1時 1. 学習の見通しをもつ。 2. 冒頭の電話のやりとりを通して、相手による言葉づかいの違いに気づく。 3. 教科書を読んで敬語とそのはたらきについて理解する。 4. 教科書を読み、敬語がどのような場面で使われるか理解する。 第2時 5. 教科書を読み、敬語の種類別に、そのはたらきと言葉の例を理解する。 6. 敬語の種類を考えながら、適切に敬語を使用する。 7. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。(1)キ) 【態度】 ・積極的に日常よく使われる敬語を理解し、今までの学習を生かして、敬語を使う場面や使い方に関心をもち正しく使おうとしている。					

		五年					六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	1 (話す・聞く1)	漢字の広場② 複合語 教科書：P74 △◇複合語の構成や変化、由来などについて理解を深める。 ☆学習用語：複合語	言語	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 「食べる」と「始める」という言葉が組み合わせられてできる言葉を考え、二つ以上の言葉が組み合わせられてきた複合語について、そのでき方と読み方を理解する。 3. 「書く」「走る」「見る」+「始める」をもとに複合語を作る。 4. 動きを表す言葉が組み合わせられてきた複合語を元の言葉に分け、構成について話し合う。 5. 複合語の言葉集めをし、短文を作る。 6. 動きを表す言葉以外にも、複合語があることを知る。 7. いろいろな組み合わせ方を知り、語形や音が変化する場合があることを確かめる。 8. 二つの言葉が組み合わせるとき、あとの言葉の頭音が濁音になることを確かめる。	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(11才) 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)工) 【態度】 ・積極的に複合語の組み合わせ方について理解し、学習の見通しをもって複合語について、言葉集めをしようとしている。						

五年					六年					
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1 (書く1)	四年生で学んだ漢字② 教科書：P76 △ ■ 絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	漢字	第1時 <見通しをもとう> 1. 題名や写真、リード文を読んで、本文の内容を想像する。 (1) 写真を見てわかることや想像したことを発表する。 (2) 文章の題名やリード文と関連づけて、本文の内容を想像する。 第2時 <たしかめよう> 2. 本文の大体を捉えたり、文章構成を確認したりする。 (1) 範読を聞いて、文章の大体を説明する。 (2) 本文の文章構成を確認する。 (3) 問いの答えを説明するために使われている図について話し合う。 第3・4時 <くわしくよもう> 3. 川をわたる知恵について段落ごとにまとめる。 (1) 文章構成を確認する。 (2) 「はじめ」と「おわり」を読み取る。 (3) 「中」の部分について、図や写真と本文を結びつけながら、段落ごとに表にまとめる。 第5時 <まとめよう> 4. 自分の考えを明確にする。 (1) 見沼通船堀を考えた人たちの知恵について読み取ったことを振り返る。 (2) その知恵について自分の考えをノートにまとめる。 第6時 <つたえあおう> 5. 自分の考えを友達と伝え合い、互いのよさを語り合う。 (1) 自分の考えを友達に伝える。 (2) 友達の考えを聞いて、まとめ方や感想の内容について、気づいたことを伝え合う。 第7時 <ふり返ろう> 6. 学習全体を振り返る。 (1) 段落ごとにまとめるときに気づいた言葉を発表する。 (2) 図と文を結びつけて読むよさについて考えたことを発表する。	【知識・技能】 ◎ 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工 【思考・判断・表現】 ○ 「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態度】 ・ 積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・ 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)					

五年					六年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1	読書の広場① 図書館を活用しよう 教科書：P77 △□図書館にある資料や情報の特徴を知り、目的に応じて情報の集め方を使い分ける。	読書	＜見通しをもとう＞ 1. 図書館にある資料や情報の特徴を知り、それを集めたり使い分けたりできるようにするという学習内容を捉え、見通しをもつ。 2. 図書館に置いてある資料・情報について知り、興味のあることからテーマを決めて、複数の資料を利用して調べる。 ＜ふり返ろう＞ 3. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。(3)オ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1)カ) 【態度】 ・進んで図書館にある資料や情報の特徴を知り、学習の見通しをもって、資料を調べようとしている。 【言語活動例】 ・学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。(C2)ウ)	1	読書の広場① 地域の施設を活用しよう 教科書：P92 △□身のまわりに情報を集めることのできる施設があることを知る。	読書	1. 情報を探ることのできる施設について知るという学習内容を知り、活動に見通しをもつ。 2. 情報を探ることができる施設について、二次元コードを活用したりインターネットで検索したりし、自分が住んでいる地域の施設を調べる。 3. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1)カ) 【態度】 ・地域の施設を調べるという活動に見通しをもち、進んで施設について調べようとしている。 【言語活動例】 ・学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。(C2)ウ)
	1	読書の広場② ひろがる読書の世界 教科書：P80 △□本についての話し合いや、おすすめの本のスピーチをする活動を通して、日常的に読書に親しむ。	読書	1. 「本について話し合う」、「「おすすめ本」をスピーチする」という学習内容を捉え、学習の見通しをもつ。 2. 学校の図書室や地域の図書館などで、興味のある本を借りて、本について話し合ったり、「読書りれき」などを活用し、印象に残っている本についてスピーチしたりする。 3. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。(3)オ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1)カ) 【態度】 ・積極的に読書に親しみ、学習課題にいろいろ沿って、いろいろな本があることを知ろうとしている。 【言語活動例】 ・学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。(C2)ウ)	1	読書の広場② ひろがる読書の世界 教科書：P94 △□特別な一冊を紹介したり、伝記の人物から学んだことを漢字で表したりする活動を通して、日常的に読書に親しむ。	読書	1. 「私の特別な一冊を紹介する活動」、「伝記の人物から学んだことを漢字で表す」という学習内容を捉え、学習の見通しをもつ。 2. 「私の特別な一冊を紹介する活動」、「伝記の人物から学んだことを漢字で表す」ために、学校の図書室や地域の図書館などで、興味のある本を借り、「読書りれき」などを活用し、自分の考えをまとめる。 3. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。(3)オ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1)カ) 【態度】 ・進んで読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付き、学習課題に沿って、文章を読んだ感想や自分の考えを広げようとしている。 【言語活動例】 ・学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。(C2)ウ)

		五年					六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
9	2 (話す聞く2)	意図をもって話を聞き、考えたことをまとめよう 「対話」というやりとり 教科書：P82 ◇自分が聞きたいことは何か、意図をもって話を聞き、自分が考えたことをまとめる。	話聞	第1時 1. 単元名や教材名から、本単元の目標や活動をつかむ。 2. 相手に聞きたいことを決め、インタビューの準備をする。 3. テーマを決めて、話を聞く。 4. 聞いたことをもとに自分の考えをまとめて発表する。 第2時 5. 前時で学んだことを振り返る。 6. 相手を変えて、2回目のインタビューを行う。 7. 聞いたことをもとに自分の考えをまとめて発表する。 8. テーマを決めて話を聞くと、どんなことに気をつけて取り組んだか振り返る。 ※6年生の単元「相手の思いを考えながら聞こう」と実施時期を入れ替えて行うことも考えられる。	【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)工) 【態度】 ・自分が聞きたいことは何かははっきりさせて相手の話を進んで聞き、自分の考えをまとめようとしている。 【言語活動例】 ・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。(A(2)イ)	2 (話す聞く2)	相手の思いを考えながら聞こう 聞かせて！ 「とっておき」の話 教科書：P96 ◇話し手の意図を考慮しながら聞き、自分の意見と比べて考えをまとめる。	話聞	第1時 1. 単元名や教材名から、本単元の目標や活動をつかむ。 2. 知らせたい「とっておき」を考える。 (1)教科書の例を参考にしながら、友達と共通点がありそうな質問の項目を学級で話し合う。 (2) 項目から候補を三つ選び、それぞれ自分のエピソードを思い出す。 第2時 3. 「とっておき」について話す。 (1) 二人で組みになり、エピソードをあげながら順番に話をする。 4. 感想を伝え合う。 (1) 友達のエピソードと自分の考えを紹介する。 (2) 紹介を聞き終えたら、感想を伝える。 <ふり返ろう> 5. 学習の振り返りをする。 ※5年生の単元「意図をもって話を聞き、考えたことをまとめよう」と同時期に実施することも考えられる。	【知識・技能】 ◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(1)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)工) 【態度】 ・積極的に話し手の意図を考慮し、これまでの学習を生かして自分の意見と比べて考えをまとめようとしている。 【言語活動例】 ・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。(A(2)イ)	
	2	詩を読もう 素朴な琴／鳴く虫／山のあなた 教科書：P86 □文語詩を含むさまざまな作品を読みながら、イメージの広がりを読み味わう。 ☆学習用語：仮名遣い／歴史的仮名遣い	読む	第1・2時 1. 『素朴な琴』を音読する。 2. 『鳴く虫』を音読する。 3. 虫の音を作者が何にたとえているか話し合う。 ※学級の人数によって、ペアで話し合ったり、教員もグループに入ることも考えられる。 4. 『山のあなた』を音読する。	知識・技能 ◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク) ◎文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ) ◎親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)工) 【態度】 ・進んで昔の作品を読み、学習の見通しをもって詩の世界を楽しもうとしている。 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ)	1	詩を読もう イナゴ 教科書：P98 □凝縮された言葉の美しさや豊かさを味わいながら、詩の世界を楽しむ。 ☆学習用語：連	読む	1. 「イナゴ」を音読して、一連と二連の「イナゴ」と「ほく」の様子をもとに、詩の世界を想像する。 2. 一連と二連で、僕の目に映るイナゴの姿にはどのような違いがあるか、その対比について、グループで話し合い、意見を交流する。視点の違いについて気づかせたい。 ※学級の人数によって、ペアで話し合ったり、教員もグループに入ることも考えられる。 3. 三連について考えたことを、全体で話し合う。	【知識・技能】 ◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク) ◎文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)工) 【態度】 ・積極的に言葉の広がりを味わい、学習課題に沿って詩の世界を楽しもうとしている。 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ)	

五年					六年					
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						1 (書く 1)	言葉の文化③ 「知恵の言葉」を集めよう 教科書：P100 △■昔から広く継承されてきた「知恵の言葉」を知ることによって、言語文化の奥深さに気がつくとともに、自らの体験をもとに新たな「知恵の言葉」を創作する。	文化	1. 学習の見直しをもつ。 2. 暮らしの中に、ものの名前や物事の手順を唱え言葉で覚える工夫があることを知り、教材文を読んで集めたり調べたりする意欲をもつ。 3. 自分の知っている「知恵の言葉」や本で調べた覚え歌、ことわざなどを集めたり整理したりして友達と交流する。 4. 自分の得意技や知っているコツを伝えやすいように「知恵の言葉」にして紹介し合う。 ※作った「知恵の言葉」を5年生に紹介し、感想をもらうようにするとよい。	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見直しをもって自分の「知恵の言葉」をつくらうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)

		五年					六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	4 (書く4)	言葉を選んで、ゆたかに表現しよう 俳句・短歌のリズムにのせて 教科書：P112 ■季語や自分の気持ちや様子を表す言葉を選び、俳句や短歌を作る。 ★ここが大事：俳句・短歌を作る ☆学習用語：季語／俳句／短歌	書く	第1時 1. 教科書に載っている俳句・短歌について感じたことや表現の工夫について考え、学習の見通しをもつ。 2. 俳句にするできごとを決め、そこから連想する言葉を集める。 第2時 3. 音に合う言葉を選び、俳句を作る。 第3時 4. 短歌を作る。 (1)心を動かされた情景やできごとを思いうかべる。 (2)「五・七・五・七・七」の音に合う言葉を選ぶ。 (3)作った短歌のリズムや響きを確認する。 第4時 5. 作品を読み合い、感想を伝え合う。 <ふり返ろう> 6. どんな工夫をして、題材を集めて表現したのかを振り返る。	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって進んで俳句をつくらうとしている。 【言語活動例】 ・短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)イ)	5 (書く5)	五 てんかいを工夫して物語を書こう あなたは作家 教科書：P100 ■写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作る。 ★ここが大事：物語を作る ☆学習用語：中心人物／視点／クライマックス／やま場／情景描写	書く	第1時 <見通しをもとう> 1. 「学習の進め方」を読み、学習の見通しをもつ。 <決めよう・集めよう> 2. 物語の設定を考える。 (1)登場人物を選び、人物設定を考える。 (2)物語の大体を考える。 (3)物語の展開される時や場所を考える。 第2時 <組み立てよう>(重点) 3. 物語を組み立てる。 第3時 <書こう> 4. 物語を書く。 (1)書き出しを工夫する。 (2)表現を工夫する。 第4時 <読み返そう> 5. 物語を読み返す。 第5時 <伝え合おう> 6. 友達と読み合う。 <ふり返ろう> 7. どんなことを意識し、物語の展開を考えたら振り返る。 ※作った物語は、5年生に読んでもらい、感想をもらおうとよい。	【知識・技能】 ◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態度】 ・積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。 【言語活動例】 ・短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)イ)	

		五年					六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
10	6 (話す聞 く6)	五 立場を明確にして話し合 おう ミニディベート—AIとのくら し 教科書：P116 ◇自分の立場を明確にして、 計画的に話し合い、自分の考 えを広げる。 ★ここが大事：考えを広げる ために話し合う ☆学習用語：ミニディベート /根拠/出典/引用/利点/ 反論	話聞	第1・2時 <見通しをもとう> 1. 単元名や学習の進め方から、本単元の目標や活動をつかむ。 <決めよう・集めよう> 2. テーマを決めて、調べる。 (1)自分の学級で話し合うテーマを決める。 (2)利点や問題点について調べる。 第3時 <組み立てよう> 3. 話し合いの準備をする。 第4時 <話そう・聞こう> 4. 「ミニディベート」を行う。 (1)P.119～120の学習モデルを参照し、「ミニディベート」の流れを確 認する。 (2)「ミニディベート」を行う。 ※他校とリモートでつないで学習を進め、ミニディベートを行うこと も考えられる。 (3)使った資料と、「ミニディベート」を通して自分が思ったり感じた りしたことをノートにまとめる。 第5時 <伝え合おう> 5. 感想を交流する。 (1)前時にまとめたノートを振り返る。 (2)感想を交流する。 ①立場を明確にして話し合う「ミニディベート」という活動について の感想。 ②テーマに対しての自分の考えの広がりや深まりについての感想。 第6時 <ふり返ろう> 6. 学習の振り返りをする。 (1)「ミニディベート」で話し合う時、どんなことに気をつけて取り組 んだか振り返る。 (2)「ここが大事」を読み、ここで学んだことについて確認する。 ※6年生の単元「三 自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう」と実 施時期を入れ替えて行うことも考えられる。	【知識・技能】 ◎原因と結果など情報と情報との関係につ いて理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互い の立場や意図を明確にしなが計画的に話 し合い、考えを広げたりまとめたりしてい る。(A(1)オ) 【態度】 ・進んでテーマについて自分の立場を明確 にして、学習課題に沿って計画的に話し合 い、自分の考えを広げようとしている。 【言語活動例】 ・それぞれの立場から考えを伝えるなどし て話し合う活動。(A(2)ウ)	3 (話す聞 く2)	言葉の広場③ なぜ、わかり合えなかったの かな？ 教科書：P108 △◇伝え方次第で相手に自分 の考えが伝わらないことを理 解し、自分の考えを適切に伝 える。	言語	第1時 1. ふだんの会話やSNS上のやりとりの中で、自分の伝えたかったこと が、相手にうまく伝わらなかった経験を思い返し、学習に対する見通 しをもつ。 2. 西川さんと田村さんのやりとりについて話し合う。 第2時 3. P109の3つの状況下で、どのように「いいよ」と言えばよいか話 し合う。 4. P109の「すみません」「やばい」の言い方について話し合う。 5. 「いいよ」「すみません」のほか気をつける言葉を探す。 第3時 6. 本田さんと竹中さんのSNS上でのやりとりについて話し合う。 7. P111を読み、SNS上で絵文字・顔文字を利用するよさや注意点を 知る。 8. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎言葉には、相手とのつながりをつくる働 きがあることに気付いている。(1)ア) 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、話し 手の目的や自分が聞こうとする意図に応じ て、話の内容を捉え、話し手の考えと比較 しながら、自分の考えをまとめている。(A (1)エ) 【態度】 ・進んで、言葉には、伝え方次第で相手に 自分の考えがうまく伝わらないことに気付 き、見通しをもって、自分の考えを適切に 伝えようとしている。 【言語活動例】 ・それぞれの立場から考えを伝えるなどし て話し合う活動。(A(2)ウ)	

五年					六年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						1	漢字の広場③ 熟語の使い分け 教科書：P112 △意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けする。 ☆学習用語：熟語	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 「大事」と「重要」の使い方の違いを考え、それぞれの文には、どちらがふさわしいかを話し合う。 3. 「制限」と「限定」等の使い方の違いを考え、二つの熟語の使い分けを考えたり、国語辞典などを利用してそれぞれの意味と用例を調べたりして、確かめる。 4. よく似た熟語を使って短文を作り、それぞれの違いを比べる。	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって、意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。
						1 (書く1)	五年生で学んだ漢字③ 教科書：P115 △■絵を見て想像したことをもとに、五年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	漢字	第2時 5. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。 6. 五年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。 7. 書いた文を見直し、適切な表現に替えたり、まちがいを正したりして、発表し合う。 8. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B1)オ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B2)ア)

		五年					六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	7 (書く2)	<p>四 物語のやま場を見つけ、読みを深めよう</p> <p>大造じいさんとがん</p> <p>教科書：P90</p> <p>□■残雪に対する大造じいさんの心情の変化を読み、「やま場」の場面を見つけたたり、大造じいさんの行動に対しての考えを書いたりする。</p> <p>★ここが大事：「やま場」を考える</p> <p>☆学習用語：様子／物語／心情／場面／理由／情景描写／発表／やま場／気持ち／話し手／人物像／性格／中心人物／物語の基本構造</p>	読む	<p>第1時 <見通しをもとう> 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。</p> <p>第2～4時 <たしかめよう> 2. 大造じいさんの残雪に対する心情の変化を考える。 (1)大造じいさんは、がんを捕らえるために、どのような作戦を立てたか読み取り、その時の心情とともに、表に整理する。 (2)大造じいさんが残雪に対してもっていた思いは、どのようなもので、どの場面でどのように変わっていったのか理由とともに話し合う。</p> <p>第5時 <くわしくよもう> 3. この物語の「やま場」は、どこか。そこだと思った理由をノートにまとめ、発表し合う。</p> <p>第6時 <まとめよう> 4. 心に残った場面を選び、理由や自分の考えをまとめる。</p> <p>第7時 <つたえあおう> 5. まとめたものを伝え合う。 <ふり返ろう> 6. 学習を振り返る。 (1)「やま場」を見つけたことで、どのようなよさがあるか考える。 (2)心に残った場面を紹介したい物語があるか考える。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ)</p> <p>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)工)</p> <p>【態度】</p> <p>・進んで残雪に対する大造じいさんの心情の変化を読み、学習の見通しをもって「やま場」の場面を見付けたり、大造じいさんの行動について考えたりしたことを文章にまとめようとしている。</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ)</p>	1 (話す聞く1・書く1)	<p>国語の学習 つながる ひろがる</p> <p>教科書：P116</p> <p>◇■半年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、計画的に学習できるようにする。</p>	話聞	<p>1. 半年間の国語の学習を振り返り自分が学んできたことを、『六年生で学ぶこと』を見ながら書き出したり話し合ったりする。</p> <p>2. 1で出し合ったことが、ほかの教科や生活の中で、どんなことに生かしていけるか考える。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解している。(【知識及び技能】(1)カ)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(Aア)</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</p> <p>【態度】</p> <p>・積極的に上巻の教科書での国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、今までの学習を生かして計画的に学習しようとしている。</p>	

五年					六年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						8 (書く2)	ー ファンタジーを読み、自分の考えをまとめよう きつねの窓 教科書：P8 ☐ ■登場人物の心情の変化を考えながら読み、想像したことを書く。 ★ここが大事：ファンタジーを読む	読む	第1時 <見通しをもとう> 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 第1～3時 <たしかめよう> 2. 子ぎつねに対する「ぼく」の心情の変化をまとめる。 第4・5時 <くわしくよもう> 3. 窓に映るものと、不思議な世界に行ったあとの「ぼく」の変化について考え、話し合う。 (1)窓にはどのようなものが映るのか、子ぎつねの「窓」に映ったものと、「ぼく」の窓に映ったものを比べて考える。 (2)不思議な世界に行ったことによって、「ぼく」にはどのような変化があったのかを考え、話し合う。 第6時 <まとめよう> 4. 自分が「窓」で見たいものを考え、その理由も明らかにして、工夫して紹介する。 (1)自分は「窓」でどのようなものが見たいか、理由も明らかにして、想像したことを書く。 (2)表現の仕方を工夫して紹介し合う。 第7時 <つたえあおう> 5. 作ったものを見せ合い、感想を伝え合う。 ※作ったものは、5年生や他学年に見せるとよい。 第8時 <ふり返ろう> 6. 学習を振り返る。 (1)ファンタジーを読むときに、どのようなことに気がつけたか振り返る。 (2)窓に映したいもの考えたときに、それを選んだ理由は何か考える。	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)エ) ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C1)オ) ○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1)エ) 【態度】 ・進んで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ)

五年					六年					
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1 (書く 1)	言葉の文化② 鳥 教科書：P110 △■「鳥」を扱った言語表現を集める。	文化	1. 学習の見通しをもつ。 2. 教科書の文章から「鳥」を扱った表現や歌を知り、声に出して読む。 3. 「鳥」に関する歌や言葉を辞典などを使って調べて、ノートに書く。	【知識・技能】 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・粘り強く「鳥」を扱った言語表現を集めようとし、学習の見通しをもって感じたり考えたりしたことについて文章に書こうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)					
	1 (話す・聞く 1)	漢字の広場③ 熟語の構成 教科書：P122 △◇二字熟語の構成や由来について理解を深める。 ☆学習用語：熟語の構成	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 「読」「書」という二つの漢字の意味を手がかりに「読書」という熟語の意味を考える。 3. P122下段の設問で示す熟語について、読み方を確かめ、組み立てにそって読み下し、意味を推測し、話し合う。 4. 辞典が定義している意味を調べ、自分が推測した意味と比べて熟語の意味を確認する。 5. 二字熟語の構成のタイプを五つに分けて、理解する。	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)工) 【態度】 ・粘り強く二字熟語の構成や由来について理解を深め、学習の見通しをもって熟語の構成をもとに意味を考えたり、辞典を使って調べたりしようとしている。					

五年					六年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1 (書く1)	四年生で学んだ漢字③ 教科書：P124 △■絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	漢字	第2時 7. 教科書の絵を見て、描かれているものについて説明する。 8. 4年生までに学んだ漢字を使って、絵に描かれている都道府県名を使った文を書く。 9. 書いた文を見直し、適切な表現にかえたり、まちがいを正したりして、発表し合う。 10. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)	4 (書く1)	言葉の文化④ 言葉は時代とともに 教科書：P30 △■言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを知り、自分の考えをまとめる。 ☆学習用語：言葉づかい／歴史的仮名遣い	文化	第1・2時 1. 学習の見直しをもつ。 2. 『言葉は時代とともに』を読み、言葉の変化について考える。 3. 『万葉集』や近代の代表的な文学者の作品にふれて、その言語表現を味わう。 第3時 4. 身のまわりの事物から、言葉の変化を考えてみる。 第4時 5. 時代とともに変化していく言葉について調べて、考えたことを交流する。	【知識・技能】 ◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(3)イ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)カ) 【態度】 ・積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)
	1	言葉の広場③ 方言と共通語 教科書：P126 △方言と共通語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分ける。 ☆学習用語：方言／共通語	言語	1. 冒頭のやり取りと、図を確認し、日本各地に「ありがとう」という意味の言葉は、いろいろな言い方があることを知り、学習の見直しをもつ。 2. 教科書を読み、共通語と方言について理解する。 3. 共通語で使われる意味とは違う意味で使われる方言を調べる。 4. 教科書を読み、アクセントの意味を知る。 5. 地域によってアクセントの位置が違う言葉を調べる。 6. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。(3)ウ) 【態度】 ・積極的に方言と共通語について理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。					

		五年					六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	1 (話す聞く・書く)	国語の学習 つながる ひろがる 教科書:P128 ◇ ■半年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、計画的に学習できるようにする。	話聞	1. 半年間の国語の学習を振り返り自分が学んできたことを、「五年生で学ぶこと」を見ながら書き出したり話し合ったりする。 2. 1で出し合ったことが、他の教科や生活の中で、どんなことに生かしていけるか考える。	【知識・技能】 ○話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(Aア) ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(Bア) 【態度】 ・積極的に上巻の教科書での国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、今までの学習を生かして計画的に学習しようとしている。						

		五年					六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
11	9 (書く5)	<p>一 根拠となる資料にもとづいて考えを深め、自分の意見を書こう</p> <p>世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう</p> <p>教科書：P8</p> <p>■□多様な文章や資料を比べながら読み、自分の考えを深め、その考えが伝わるように根拠を明確にして意見文を書く。</p> <p>★ここが大事：意見文を書く</p> <p>☆学習用語：意見文／課題／資料／根拠／引用する／主張／反論／事例／出典</p>	読む・書く	<p>第1時 ＜見通しをもとう＞</p> <p>1. 単元名とリード文を読み、自然保護に対する自分の意見を意見文にまとめることについて話し合い、学習の見通しをもつ。</p> <p>第2・3時 2. 白神山地について知る。</p> <p>第4～6時 3. 資料を読み、白神山地の課題を知って自分の考えをまとめる。 (1)資料1～7を読み、自然保護にはさまざまな考え方があることを理解する。 (2)斎藤さんの文章や資料1～7をもとに、それぞれの資料からわかることをノートに書き出す。 (3)資料からわかったことについて、自分の考えとその根拠(もともとなる資料)を書く。</p> <p>第7時 4. グループで考えを交流し、自分の考えを深める。 ※学級の人数によっては、グループの人数に配慮したり、他校の学級とリモートでつないだりして交流することも考えられる。</p> <p>第8・9時 5. 自分の考えをまとめ、意見文を書く。 ＜ふり返ろう＞</p> <p>6. 学習活動を振り返る。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)</p> <p>【態度】</p> <p>・積極的に多様な文章や資料を比べながら読み、学習課題に沿って自分の考えを深め、その考えが伝わるように根拠を明確にして意見文を書こうとしている。</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)</p> <p>・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C(2)ア)</p>	7 (書く7)	<p>二 説得力のある文章を書こう</p> <p>十二歳の主張</p> <p>教科書：P38</p> <p>■理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書く。</p> <p>★ここが大事：説得力をもたせて書く／推敲する</p> <p>☆学習用語：課題提起／結論／序論／本論／投書</p>	書く	<p>第1時 ＜見通しをもとう＞</p> <p>1. 「学習の進め方」を読み、どのように意見文を書くのかイメージし、学習の見通しをもつ。 ＜決めよう・集めよう＞</p> <p>2. 課題を決めて、取材する。</p> <p>第2時 ＜組み立てよう＞</p> <p>3. 集めた材料から主張の理由・事例として適切なものを選び、伝えたいことが明確になるように構成を考える。</p> <p>第3・4時 ＜書こう＞(重点)</p> <p>4. 意見文を書く。</p> <p>第5時 ＜読み返そう＞(重点)</p> <p>5. 意見文を読み返す。</p> <p>第6・7時 ＜伝え合おう＞</p> <p>6. 友達と読み合って、交流する。 ※書いた意見文を5年生や保護者などに読んでもらい、感想をもらうことも考えられる。</p> <p>＜ふり返ろう＞</p> <p>7. 学習を振り返る。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ)</p> <p>◎「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p> <p>【態度】</p> <p>・積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書こうとしている。</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)</p>	

五年					六年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						1	漢字の広場④ 音を表す部分 教科書：P44 △形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解する。 ☆学習用語：漢字／共通点／様子／熟語／発表／形声文字	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. P44の文例を読み「清」「晴」「精」の共通点について考える。 3. P45「1」の設問に取り組み、音を表す部分が、へん・つくり・かんむり・あし等のどの位置にあるか話し合う。 4. 文字によって音が違うものもあることを知る。 5. P45「2」の設問をもとに、未習の漢字の読みを推測する。 6. P45「3」の設問に取り組み、音を表す部分への関心を深める。 7. P45「4」の設問を解き、同音の漢字を正しく使い分けようにする。 8. P45「5」の設問に取り組み、音を表す部分を共通にもつ漢字の仲間を探し、それぞれの漢字を使った熟語を集め発表し合う。	【知識・技能】 ◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3ウ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。
	3 (書く 1)	言葉の文化③ 「古典」を楽しむ／日本の伝統芸能 教科書：P22 △■昔から読み継がれている物語を読み、感想を書く。 ☆学習用語：古典	文化	第1時 1. リード文を読み、学習の見通しをもつ。 2. 『竹取物語』『平家物語』『伊弉保物語』にふれて、その文章の一部を音読する。 第2時 3. 「古典」にふれた感想を文章にまとめる。 第3時 4. 日本の伝統芸能にふれ、演劇や絵本、マンガや映画など、多様な表現に生きている古典を集めたり読んだりして人々との関わりについて知る。	【知識・技能】 ◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(3イ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1ウ) 【態度】 ・進んで昔から読み継がれている物語を読み、学習の見通しをもって「古典」を読んだ感想をまとめようとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B2ア)	1 (書く 1)	五年生で学んだ漢字④ 教科書：P46 △■絵を見て想像したことをもとに、五年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	漢字	第2時 9. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。 10. 五年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。 11. 互いの作った文を読み合い、感想や意見を述べ合う。 12. 学習したことをふり返る。	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1工) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1ウ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B2ウ)

五年					六年					
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						1 (話 す・聞 く1)	三 自分の経験と重ねて読 み、考えを広げよう あなたはどうか感じる？ 教科書：P48 □◇友達と自分の感じ方の違 いについて考える。	読む	<見通しをもとう> 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 2. 本文を読んで、友達と自分の感じ方はなぜ違うのか、考えを伝え 合う。	【知識・技能】 ◎原因と結果など情報と情報との関係につ いて理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理 解したことに基ついて、自分の考えをまと めている。(C1)オ) ○「話すこと・聞くこと」において、話し 手の目的や自分が聞こうとする意図に応じ て、話の内容を捉え、話し手の考えと比較 しながら、自分の考えをまとめている。(A (1)エ) 【態度】 ・進んで友達と自分の感じ方の違いにつ いて考えようとし、見通しをもって、『ぼく の世界、君の世界』の学習に生かそうとし ている。 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明 したり、自分の生き方などについて考えた ことを伝え合ったりする活動。(C2)イ)

		五年				六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2	言葉の広場④ かなづかいで気をつけること 教科書：P30 △仮名遣いのきまりを理解して、文を正しく書く。 ☆学習用語：仮名遣い／仮名／漢字／平仮名	言語	第1時 1. 学習内容を理解し、日常化への見通しをもつ。 2. 「みずうみ」と「みかづき」の例文を読み、どの文字を入れたらよいか話し合う。 3. 仮名遣いのきまりを理解する。 第2時 4. 仮名遣いのきまりに気をつけて、問題を解く。 5. 日常の言語生活における仮名遣いを振り返る。 6. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。(1)ウ) 【態度】 ・積極的に仮名遣いのきまりを理解し、学習課題に沿って、文を正しく書こうとしている。	7 (書く1)	三 自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう ぼくの世界、君の世界 教科書：P50 □■筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、「心の世界」について考える。 ★ここが大事：筆者の論じ方 ☆学習用語：要旨	読む	第1・2時 〈たしかめよう〉 1. 学習の見通しをもつ。 2. 「心の世界」を捉えるための事例と要旨について考える。 (1)「昔から大真面目に議論されてきた問題」を解き明かすための二つの事例について、表を用いてまとめる。 (2)『あなたはどう感じる?』での学びや(1)の表をもとに、この文章の要旨について話し合う。 第3・4時 〈くわしくよもう〉 3. 既習の説明文と比較して、筆者の論の進め方にはどのような特徴があるのか、事例や解説、絵や図表、文末表現などに着目して話し合う。 第5時 〈まとめよう〉 4. 『あなたはどう感じる?』と『ぼくの世界、君の世界』での学びを手がかりに、自分の身近な経験と比べながら心の世界について考えたことを書く。 第6・7時 〈つたえあおう〉 5. 書いた自分の考えを友達と比較しながら読み合い、共通点や相違点はどこか、話し合う。 〈ふり返ろう〉 6. 筆者の思考の深め方や主張についてどう感じたか、自分の「心の世界」はどのような考えをもとにまとめたのか、振り返る。	【知識・技能】 ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) 【態度】 ・学習の見通しをもって、筆者の考えに気をつけながら文章の要旨を捉えるとともに、自分の経験をふり振り返りながら「心の世界」について考えようとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたことを書く活動。(B(2)ア) ・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C(2)ア)

五年					六年					
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1 (書く 1)	漢字の広場④ 漢字の成り立ち 教科書：P32 △■漢字の成り立ちについて 関心を深める。 ☆学習用語：象形文字/指事文字/会意文字/形声文字	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 漢字の四つの成り立ちの種類について概観する。 3. 象形文字について理解し、設問に答えたりして、ノートにまとめる。 4. 指事文字について理解し、設問に答えたりして、ノートにまとめる。 5. 会意文字について理解し、設問に答えたりして、ノートにまとめる。 6. 形声文字について理解し、ノートにまとめる。 7. 漢字辞典を利用して、形声文字の意味を表す部分(部首)と、音を表す部分を確認する。	【知識・技能】 ◎ 語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3)ウ) 【思考・判断・表現】 ○ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって漢字の成り立ちについて関心を深め、漢字事典で調べようとしている。					
12	1 (書く1)	四年生で学んだ漢字④ 教科書：P34 △■絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	漢字	第2時 8. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。 9. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。 10. 書いた文を見直し、適切な表現にかえたり、まちがいを正したりして、発表し合う。 11. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎ 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) 【思考・判断・表現】 ○ 「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)					

		五年					六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	7 (書く2)	二 表現の効果について、考えを広げよう 雪わたり 教科書：P36 □■表現の工夫や登場人物の関わりをとおして、『雪わたり』の魅力を紹介する文章を書く。 ★ここが大事：表現のくふうを読む ☆学習用語：たとえ／情景描写／たとえを用いた表現	読む	第1・2時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 ＜たしかめよう＞ 2. 登場人物とできごとについて確認する。 (1)登場人物の会話や行動をもとに、どんな人物かを考える。 (2)できごとを確認する。 第3・4時 ＜くわしくよもう＞ 3. 表現の工夫を読む。 (1)おもしろいと思う表現の工夫を探す。 ・リズムのある表現 ・たとえを使った情景描写 (2)表現の工夫や効果について考えたことを紹介し合う。 第5時 ＜まとめよう＞ 4. 表現の工夫に着目して、『雪わたり』の魅力を紹介する文章を書く。 第6時 ＜つたえあおう＞ 5. 紹介文を読み合い、感想を伝え合う。 ※書いた紹介文を6年生や保護者などに読んでもらい、感想をもらうことも考えられる。 第7時 ＜ふり返ろう＞ 6. 学習を振り返る。 (1)表現の工夫があることで、どのような効果があったか振り返る。 (2)物語の魅力を紹介する文章を書くときに、どのようなことに気がつけたか振り返る。	【知識・技能】 ◎ 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)工 ○ 「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1)カ ○ 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ 【態度】 ・ 進んで表現の工夫や登場人物の関わりを読み、学習の見通しをもって『雪わたり』の魅力を紹介する文章を書こうとしている。 【言語活動例】 ・ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ	4 (書く1)	三 自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう 「うれしさ」って何？——哲学対話をしよう 教科書：P62 ◇■互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、共通点や相違点をもとに分類する。 ★ここが大事：伝え合う努力をするために	話聞	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 「うれしさ」について考え、互いの感じ方を伝え合うという学習の見通しをもつ。 ＜決めよう・集めよう＞ 2. 「うれしさ」について考える。 (1)人はどんなときに「うれしく」なるのかを考える。「うれしい」というとき、どんな場面を思い浮かべるか、発表し合う。 (2)「うれしかったこと」「うれしいと感じるとき」を思い出し、具体的な場面を2～4つ書き出す。 第2時 ＜組み立てよう＞ 3. 「うれしさ」を感じた自分の体験をカードに書く。 (1)書き出した中から1～2つ選び、「なぜうれしいと感じたのか」「どんなうれしさだったのか」をメモする。 第3時 ＜話そう・聞こう>(重点) 4. 「うれしさ」を話し合い、分類する。 (1)グループ内で発表し合う。聞き手は、質問したり感想を伝えたりすることで、話し手の「うれしさ」の感じを確かめながら聞く。 (2)グループで出された「うれしさ」を分類し、名前をつける。 第4時 ＜伝え合おう＞ 5. 発表し合い、感想を交流する。 (1)グループごとに「うれしさ」の種類を発表する。 (2)「うれしさ」の種類を、学級全体でまとめ直す。 ※「うれしさ」の種類を発表するときは、他校の学級とリモートでつないで行うことも考えられる。 6. 話し合いを通して気づいたことや、残った疑問などをまとめる。 ＜ふり返ろう＞ 7. 学習の振り返りをする。 ※5年生の単元「五 立場を明確にして明確にして話し合おう」と同時期に実施することも考えられる。	【知識・技能】 ◎ 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A1)工) ○ 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A1)オ) ○ 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ) 【態度】 ・ 積極的に互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。 【言語活動例】 ・ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。(A2)ウ) ・ 事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B2)ウ)	

		五年				六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
						6 (書く6)	五 伝えたいことを明確にして書こう 六年間の思い出をつづろう——卒業文集 教科書：P86 ■事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について考えたことを文章に書く。 ★ここが大事：思い出を卒業文集に書く	書く	第1時 <見通しをもとう> 1. 卒業文集が、六年間の小学校生活を振り返るとともに、11歳・12歳の「今の自分」を書き残す活動であることを確認する。 <決めよう・集めよう> (重点) 2. 書く事柄を決める。 第2時 <組み立てよう> 3. 文章の構成を考える。 第3・4時 <書こう> 4. 文章を書く。 第5時 <読み返そう> 5. 推敲する。 第6時 <伝え合おう> 6. 友達と読み合う。 <ふり返ろう> 7. 心に残ったことや、自分にとっての意味が伝わるように、どんなところを工夫したか振り返る。	【知識・技能】 ◎ 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク 【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態度】 ・自分のこれまでの小学校生活を振り返り、心に残っている事柄と自分にとっての意味を考えながら、読み手に伝わる文章を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B(2)ウ)

		五年					六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
1	6 (書く6)	三 事実と意見を結びつけて書こう 生活をよりよくする提案 教科書：P76 ■身のまわりの生活から課題を見つけ、事実と意見を結びつけて提案文を書く。 ★ここが大事：提案文を書く/すいこうする ☆学習用語：提案文/事実/意見/文章/取材/課題/インタビュー/漢字/構成/始め/理由/中/終わり/話題提示/推敲/司書/詩/伝える/裏づけ	書く	第1時 <見通しをもとう> 1. 「学習の進め方」を読んで、活動のイメージを具体的につかみ、学習の見通しをもつ。 <決めよう・集めよう> 2. 取材して、提案することがらを決める。 第2時 <組み立てよう> 3. 提案文の構成を考える。 第3時 <書こう>(重点) 4. 読む人に提案したいことが伝わるように書く。 第4・5時 <読み返そう>(重点) 5. 推敲する。 第6時 <伝え合おう> 6. 提案文を読んだ感想を伝え合う。 <ふり返ろう> 7. 学習を振り返る。 ・提案したいことがより伝わるように、どんな工夫をしたか振り返る。 ・推敲するときには、どんなところに気をつけたか振り返る。	【知識・技能】 ◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1カ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ◎「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態度】 ・積極的に身のまわりの生活から課題を見つけ、学習課題に沿って事実と意見を結び付けて提案文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)						
	2	言葉の広場④ その場にふさわしい言い方 教科書：P70 △話す相手や場面に応じて、敬意を表す言い方を適切に使い分ける。 ☆学習用語：敬意/謙譲語/尊敬語/敬語	言語	第1時 1. 冒頭の会話文を通して、敬意を表す際にさまざまな言い方があることを知る。 2. 教科書を読み、敬意を表す言い方としてどのような言い方が適切か理解する。 第2時 3. 場面や相手に応じて、敬意を表す言い方として適切な言い方を選ぶ。 4. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。(1キ) 【態度】 ・積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。						

		五年					六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	5 (書く2)	読書の広場③ 「図書すいせん会」をしよう 教科書：P66 △■印象に残った作品を取り上げ、推薦の仕方を工夫して、「図書すいせん会」を開き、読書の幅を広げ合う。 ☆学習用語：帯紙/ポスター/ポップ/推薦/リーフレット/パンフレット/引用	読書	第1時 1. 推薦の仕方を工夫して、「図書すいせん会」を開くという学習内容を捉え、学習の見通しをもつ。 2. 推薦の仕方や好きな本について話し合う。 第2時 3. 推薦する本を決めて内容を考える。 第3・4時 4. 「図書すいせん会」の準備をする。 (1)内容にあった効果的な方法を選ぶ。 (2)推薦の文章を書く。 第5時 5. 「図書すいせん会」を開き、推薦の文章を読み合い、感想を伝え合ったり、友達が推薦した本を読んだりする。 ※学級の人数によっては、他学年に向けて「図書すいせん会」を行うことも考えられる。 6. 学習を振り返る。 ※6年生の単元「読書の広場③ 「読書タイムラインを作って交流しよう」と実施時期を入れ替えて行うことも考えられる。	【知識・技能】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。(3)オ 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1)カ ○「書くこと」において、引用したり、図表を用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1)エ 【態度】 ・「図書すいせん会」を開くという学習内容を捉え、学習の見通しをもち、それに向けて進んで準備を行っている。 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ ・学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。(C2)ウ	3 (話す聞く1)	読書の広場③ 「読書タイムライン」を作って交流しよう 教科書：P66 △□◇読書タイムラインを作成することを通して、今までの読書を振り返り、日常的に読書に親しむ。	読書	第1時 1. 「読書タイムライン」を作るという学習内容を捉え、活動に見通しをもつ。 2. 読書りれきなどを振り返り、「読書タイムライン」をえがき、これまでに読んできた本を振り返る。 第2時 3. テーマを決めて、3冊本を選び、友達と交流する。 ※学級の人数によっては、他学年と交流することも考えられる。 第3時 4. 自分の「読書タイムライン」を振り返り、これからの読書生活に活かせるようにする。 5. 学習を振り返る。 ※5年生の単元「読書の広場③ 「図書すいせん会」をしよう」と同時期に実施することも考えられる。	【知識・技能】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。(3)オ 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1)カ ○「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A1)ウ 【態度】 ・見通しをもって「読書タイムライン」を作成し、読書りれきなどを振り返りながら、粘り強く自分が見つけた本について考えようとしている。 【言語活動例】 ・学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。(C2)ウ	

五年					六年					
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
2	3 (話す聞 く1)	言葉の広場⑤ 言葉で伝える、心を伝える 教科書：P70 △◇相手の立場を意識しながら、自分の気持ちを言葉で伝える。	言語	第1時 1. 学習内容を理解し、日常化への見通しをもつ。 2. P70・71の会話文を読み、二人のやりとりの背景を理解する。 3. 二人のやりとりの問題点を話し合って考える。 第2時 4. 二人の仲直りの仕方を考えて発表する。 5. P72の仲直りの会話文を読み、どういところを大切に仲直りしたのか、「相手の立場に立つ」「くわしく伝える」「きちんと確認する」というポイントを確認する。 6. その他にも問題点があれば話し合う。 第3時 7. P73を読み、二人のやりとりの状況を整理し、理解する。 8. 二人のやりとりに対し、第三者の立場から客観的にみて、助言を考える。 9. どのように伝え合えばよかったのかを考えて二人への助言を発表し、よりよいものを考える。 10. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(1)ア) ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)工) 【態度】 ・積極的に相手の立場を意識し、今までの学習を生かして、相手の立場を意識しながら自分の気持ちを言葉で伝えようとしている。 【言語活動例】 ・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。(A(2)ウ)	4 (話す聞 く1)	四 筆者の書き方の工夫を見つけよう 「迷う」 教科書：P76 □◇筆者のものの見方や感じ方などに触れるとともに、随筆の文章の特徴を捉える。 ★ここが大事：文章の特徴をとらえて表現に生かす ☆学習用語：随筆	読む	第1時 <見通しをもとう> 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 <たしかめよう> 2. 「迷う」ことに関連した6つの事例の中から、自分が面白いと思った事例を選び、その面白いところについて話し合う。 第2・3時 <くわしくよもう> 3. 「迷う」ことに関連した事例のうち、書き方の面白さに着目し、どのような書き方の工夫や文章の特徴があるのか伝え合う。 <まとめよう> 4. 見つけた書き方の工夫に「わざ」の名前をつけ、その説明を表などにまとめる。 第4時 <つたえあおう> 5. 考えた「わざ」について伝え合う。 <ふり返ろう> 6. 書き手の工夫を見つける際に気をつけたことや、使ってみたい工夫について振り返る。	【知識・技能】 ◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ○「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 【態度】 ・今までの学習を生かして、積極的に文章の特徴について理解するとともに、筆者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。 【言語活動例】 ・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C(2)ア)

五年					六年					
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1	詩を読もう 雪／はたはたのうた 教科書：P74 □さまざまな昔の作品を読みながら、詩の世界を味わう。 ☆学習用語：黙読／情景	読む	1. 『雪』の範読を聞いて、詩の世界のイメージをもつ。 2. 短詩「雪」を読み、描かれた情景について話し合う。 3. 話し合いで出てきた着眼点について想像を広げ、作品の世界を味わう。 4. 情景が聞き手に伝わるように声量や間、声の調子を工夫して音読する。 5. 『はたはたのうた』を音読して、「はたはた」という魚のイメージを話し合う。 6. 題名の「うた」に着目し、「はたはた」の繰り返しからどんな思いの「うた」であるかを想像し合う。 7. 「歌」の思いが表れるよう、工夫して音読する。	【知識・技能】 ◎ 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク ◎ 文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ ◎ 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)エ 【態度】 ・ 進んで昔の作品を読み、学習の見通しをもって、詩の世界を味わおうとしている。 【言語活動例】 ・ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ	1	詩を読もう 紙風船 教科書：P74 □詩を朗読して表現の効果について考え、人物像を具体的に想像する。 ☆学習用語：繰り返し（反復）・比喩・倒置法	読む	1. 「紙風船」の範読を聞いた後に、詩を黙読し微音読をして、最後の一斉音読をして、詩の世界を想像する。 2. 一連めが六行になっていることを確認したのちに、以下の5点についてペアで話し合う活動をして、確認する。 ①「今度は」という後の意味 ②これまで学習してきた詩の「繰り返し」と違って、「もっと高く」「もっともっと高く」という変化を伴う「繰り返し」になっていること ③「打ち上げよう」という呼びかけ調の言葉について ④二連目の二行が「倒置法」であることの効果について ⑤最終行の「～ように」が直喩であること 3. 詩「紙風船」が、どんなイメージを読み手に呼び起こすかについて、グループで話し合っ、交流をする。 4. グループで交流して出てきた意見や詩についてのイメージを、教室全体で発表し、交流する。 5. 最後に「紙風船」を、全員で一斉音読をする。	【知識・技能】 ◎ 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク ◎ 文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)エ 【態度】 ・ 進んで言葉からイメージを膨らませ、詩の世界を味わおうとしている。 【言語活動例】 ・ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ

		五年				六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	2	言葉の広場⑥ 和語・漢語・外来語 教科書：P82 △和語・漢語・外来語の由来と特質を理解し、それぞれから受ける印象のちがいについて考えることができる。 ☆学習用語：外来語／漢語／大和言葉／和語／訓読み／音読み	言語	第1時 1. 日本語には和語・漢語・外来語があることを知り、学習活動に対する見通しをもつ。 2. 和語・漢語の由来と特質について理解する。 3. 外来語の由来の基本について理解する。 第2時 4. 外来語が、諸外国の文化の影響を受けて成り立っていることを理解する。 5. 和語・漢語・外来語から受ける印象の違いや使い方の違いなどについて話し合う。 6. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎ 語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言の違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3ウ) 【態度】 ・積極的に和語・漢語・外来語の由来と特質を理解し、今までの学習を生かしてそれぞれから受ける印象の違いについて考えようとしている。	2 (話す聞 く・書 く1) 言葉と私たち 教科書：P90 ◇■言葉に対する自分の考えを書き、言葉への関心をもつ。 ☆学習用語：教訓／尊敬語／謙讓語	話・書	第1時 1. 自分たちにとって言葉とは何か考えてみる。 2. 教科書の三人のメッセージを読み、それぞれについての感想を交流する。 第2時 3. 言葉に対しての自分の思いを書く。 4. 書いたものをグループや学級で交流して言葉についての興味や関心を深める。	【知識・技能】 ◎ 話し言葉と書き言葉の違いに気付いている。(1イ) 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見を区別するなど、話の構成を考えている。(A1イ) ◎ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B1ア) 【態度】 ・進んで言葉に対する自分の考えをもち、友達と交流したり書いたりすることを通して、言葉への関心を広げようとしている。 【言語活動例】 ・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。(A2ア) ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B2ア)	
	1	漢字の広場⑤ 同じ音の漢字 教科書：P86 △同音の漢字、同音異義語について理解する。	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 「強力」と「協力」が、それぞれどんな意味を表しているか、考える。 3. 同じ音の言葉である「関心・感心」などの意味を国語辞典で調べ、文脈にふさわしい熟語をあてはめたらよいか、話し合う。 4. 意味や使い方を漢字辞典で確かめて、「氏名」や「指名」などの言葉を使って文を作る。 5. P87の下段の設問をノートに書き、上の欄内の漢字の意味や使い方を漢字辞典で調べ、それぞれふさわしい漢字をあてはめる。	【知識・技能】 ◎ 文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。(1ウ) 【態度】 ・積極的に同音の漢字、同音異義語について理解し、学習課題に沿って同じ音の漢字を正しく使い分けようとしている。	1 漢字の広場⑤ 同じ訓をもつ漢字 教科書：P92 △異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分ける。	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. P92上段の設問にある文例を読み「あける」の意味や使い方について考える。 3. P92下段の設問に取り組み、言葉の意味や漢字の使い方を考えて話し合う。 4. P93上段の「つとめる」「はかる」「かわる」について、辞書を使い、適切な漢字を選ぶ。 5. P93下段の言葉を使って文を作り、ノートにまとめ、発表し合う。	【知識・技能】 ◎ 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1オ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。	

		五年				六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1 (書く1)	四年生で学んだ漢字⑤ 教科書：P88 △■絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	漢字	第2時 6. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。 7. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。 8. 作った文を互いに発表し合う。 9. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)	1 (書く1)	五年生で学んだ漢字⑤ 教科書：P94 △■絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	漢字	第2時 6. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。 7. 5年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。 8. 互いの作った文を読み合い、感想や意見を述べ合う。 9. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B(2)ウ)

		五年					六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	4 (書く1)	六 ノンフィクションを読み、筆者についての考えを交流しよう みすゞがしの旅——みんなちがって、みんないい 教科書：P114 □ ■ 筆者の心情や考えを読み、自分の考えをまとめる。 ★ここが大事：ノンフィクションを読む ☆学習用語：詩/ノンフィクション/事実	読む	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 くたしかめよう 2. いつ、どのようなできごとがあったのかを確認し、筆者の心情を考え、表に整理する。 第2時 ＜くわしくよもう＞ 3. 筆者は、みすゞの作品の、どのようなところに心をひかれたのか、文章中に取り上げられている作品や、「くたしかめよう」で整理した表をもとに考えをまとめる。 第3時 ＜まとめよう＞ 4. みすゞを探し求める筆者について、考えをノートにまとめ、友達と読み合う。 第4時 ＜つたえあおう＞ 5. 筆者に対する自分の考えを友達と交流する。 ※自分の考えを交流するときは、他校の学級とリモートでつないで行うことも考えられる。 ＜ふり返ろう＞ 5. 学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1力) 【思考・判断・表現】 ○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C1イ) ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。(C1オ) ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1カ) ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1ウ) 【態度】 ・積極的にノンフィクション作品の筆者の心情や考えについて理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2イ)	13 (書く4)	六 伝記を読んで、生き方について自分の考えをまとめよう 津田梅子——未来をきりひらく「人」への思い 教科書：P96 □ ■ 伝記を読んで、登場人物の生き方をもとに、自分の未来について考える。 ★ここが大事：伝記を読む ☆学習用語：人物像/伝記/関係図	読む	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 単元扉を読んで、学習の見通しをもつ。 (1)単元扉を読む。 (2)本文を読む。範読を聞く。 (3)初発の感想を交流する。 (4)学習の見通しを確認する。 第2～5時 ＜くたしかめよう＞ 2. 津田梅子の人生を年表に整理する。 (1)梅子の行動や主な出来事がわかる場所に線を引く。 (2)年表に整理する。 (3)年表に整理することのよさについて確認する。 第6・7時 ＜くわしくよもう＞ 3. 津田梅子の人物像を考える。 (1)＜くたしかめよう＞で作った年表を振り返り、津田梅子の行動を確認する。 (2)本文の叙述から、津田梅子の性格やものの見方・考え方が分かる叙述を選ぶ。 (3)選んだ叙述から、どのような人物なのかについて考え、話し合う。 第8～11時 ＜まとめよう＞ 4. 津田梅子の人生や人物像をもとに、自分の考えをまとめる。 (1)津田梅子の生き方でいちばん印象に残った事柄(生き方・考え方・行動など)をまとめる。 (2)津田梅子の人生や人物像の中で印象に残った事柄に対して、自分の考えを書く。 (3)「梅子関係図」か「私の未来」のどちらかの方法で、自分の考えをまとめる。 第12時 ＜つたえあおう＞ 5. まとめたものを読み合い、感想を伝え合う。 ※学級に人数によっては、他校の学級とリモートでつないで伝え合うことも考えられる。 第13時 ＜ふり返ろう＞ 6. 「ここが大事」を確認し、「ふり返ろう」の観点に沿って振り返りを行う。 (1)津田梅子の生き方の、どのようなことに心を動かされたか。 (2)自分の未来についてまとめるときに、どのようなことを考えたか。	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1オ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。(C1オ) ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1カ) ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1ウ) 【態度】 ・学習課題に沿って津田梅子の生き方を考えた後、自分のこれまでに会った人やもの・こととのつながりを思い出し、積極的に自分の考えをまとめようとしている。 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2イ)	

		五年					六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
3	4 (書く1)	<p>四 筆者の説明について自分の考えをもとう</p> <p>まんがの方法</p> <p>教科書：P90</p> <p>□ ■文章を読んでまんがの表現方法やおもしろさを理解し、まんがに対する自らの考えの変化を文章に表す。</p> <p>★ここが大事：絵と文章を対応させて読む</p> <p>☆学習用語：場面/せりふ/ナレーター/筆者/段落/対応/説明的文章/役割/情報</p>	読む	<p>第1時 ＜見通しをもとう＞</p> <p>1. 単元扉を読み、「まんがの方法」について話し合い、資料を有効に活用した発表を行うという学習の見通しをもつ。 ＜たしかめよう＞</p> <p>2. 筆者が取り上げた「まんがの方法」と、主張について考える。 (1)「まんがの方法」とその効果について、表を使ってまとめる。 (2)最後の二段落に着目して、筆者の主張について話し合う。</p> <p>第2時 ＜くわしくよもう＞</p> <p>3. 「まんがの方法」を紹介するときの筆者の工夫や表現の特徴について話し合う。</p> <p>第3時 ＜まとめよう＞</p> <p>4. 『まんがの方法』を読む前と比べてまんがに対する考えの変化について、具体的な「まんがの方法」を取り上げながら書く。</p> <p>第4時 ＜つたえあおう＞</p> <p>5. 書いた考えを友達と伝え合い、疑問に思ったところを質問するなどして交流する。 ※自分の考えを交流するときは、他校の学級とリモートでつないで行うことも考えられる。 ＜ふり返ろう＞</p> <p>6. 「まんがの方法」をまとめることによる考えの変化や、考える際に気がつけたことについて振り返る。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)</p> <p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)</p> <p>【態度】</p> <p>・学習の見通しをもって、粘り強くまんがの表現方法やおもしろさを捉え、まんがに対する自らの考えの変化を文章に表そうとしている。</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)</p> <p>・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C(2)ア)</p>						

		五年					六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	6 (話す聞 く6)	五 資料を使って効果的に発表しよう ひみつを調べて発表しよう 教科書：P104 ◇資料を生かした構成を考えて、効果的に発表する。 ★ここが大事：効果的な発表をする ☆学習用語：アンケート/賛成/構成/資料/インターネット/順序/事実/具体例/要点/出典	話聞	第1時 ＜見通しをもとう＞ 1. 不思議だと思うことからテーマを選び、調べて発表するという学習の見通しをもつ。 第2・3時 ＜決めよう・集めよう＞ 2. テーマを決め、伝えたいことの内容を考える。 (1)テーマと発表方法を定める。 ＜組み立てよう＞(重点) (2)発表の中心になる柱を決める。 (3)内容にそった資料を集める。 (4)柱をもとに発表の構成を考える。 第4時 3. 発表の準備をする。 (1)発表の仕方の工夫について考える。 (2)発表練習を行い、発表の内容と方法を見直す。 第5時 ＜話そう・聞こう＞(重点) 4. 発表する。 (1)グループごとに発表をする。 ※学級に人数によっては、6年生など他学年に発表することも考えられる。 (2)発表を聞いた後に、感想交流や質疑応答をする。 第6時 ＜伝え合おう＞ 5. 自分たちの発表を振り返る。 ＜ふり返ろう＞ 6. 単元全体の学習を振り返る。	【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A1)イ) ◎「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A1)ウ) 【態度】 ・進んで資料を生かした構成を考えて、今までの学習を生かして効果的に発表しようとしている。 【言語活動例】 ・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。(A2)イ)	2 (話す聞 く1)	言葉の広場⑤ 日本語の文字 教科書：P114 △◇日本語の文字の由来や特徴に関心をもち、適切に使い分けができる。 ☆学習用語：会意文字/指事文字/象形文字/形声文字/訳/万葉仮名/仮名/外来語	言語	第1時 1. 日本語は、さまざまな文字を使って書き分けられていることを知り、学習活動に対する見通しをもつ。 2. 漢字の由来・特徴について理解する。 3. 平仮名と片仮名の由来・特徴について理解する。 4. ローマ字の由来・特徴について理解する。 5. 日本語の文字と外国語の文字との違いについて理解する。 第2時 6. 日常生活の中で、日本語の文字がどのように使われているかを話し合う。 7. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎語句の由来などに関心をもちとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特徴などについて理解している。(3)ウ) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A1)ア) 【態度】 ・積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。 【言語活動例】 ・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。(A2)ア)	

		五年				六年				
月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応
	1	漢字の広場⑥ 送りがなのきまり 教科書：P110 △送り仮名について理解を深め、正しく書く。	漢字	第1時 1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 二つの文にあるそれぞれの「集」の適切な送り仮名について話し合う。 3. 動詞や様子を表す言葉など、活用のある言葉の送り仮名について知る。 4. 名詞のように活用のない言葉の送り仮名について知る。	【知識・技能】 ◎文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。(1)ウ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって送り仮名について理解を深め、正しく書こうとしている。	1 (書く 1)	漢字の広場⑥ さまざまな読み方／特別な読み方の言葉 教科書：P120 △■同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもつ。	漢字	1. 学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 2. 「上手」を例に、意味によって読み方が変わる言葉(同形異語)について知り、それぞれの意味や感じ方の違いを比べる。 3. 「特別な読み方の言葉」(熟字訓など)について知り、P122の一覧表を使って、どのような言葉があるのか確かめる。 4. 「降」「背」「夜」「尊」など、複数の訓がある漢字(同字異訓)の読み分け方について関心をもつ。 5. P156からの「小学校で学んだ漢字」をもとに複数の訓がある漢字を探し、送り仮名に注意し、表現の効果などについて確かめたり、工夫したりして文を書き、友達どうして読み合う。 6. P121下段「1」の設問に取り組み、話し合う。 7. P121下段「2」の設問をもとに訓の読み方を考え、音読する。 8. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、表現の効果などについて確かめたり工夫したりしている。(B(1)オ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもとうとしている。

		五年					六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	1 (書く1)	四年生で学んだ漢字⑥ 教科書：P112 △ ■絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	漢字	第2時 6. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。 7. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。 8. 書いた文を見直し、適切な表現に替えたり、まちがいを正したりして、発表し合う。 9. 学習したことを振り返る。	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)工) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)	3 (話す聞く1・書く2)	ひろがる言葉 出会った言葉をふり返ろう 教科書：P123 ■◇卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望をもつ。	話・書	第1時 1. 学習の見直しをもつ。 2. 六年間の言葉の学びを振り返りながら、「卒業式で自分におくりたい言葉」を選ぶ。 3. 自分で選んだ言葉をグループ内で交流する。 第2時 4. 選んだ言葉を工夫して表現する。 第3時 5. さまざまな表現方法で選んだ言葉を交流し、みんなの思いを共有する。	【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ◎「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ) 【態度】 ・積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持つようとしている。 【言語活動例】 ・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。(A(2)ア) ・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B(2)ウ)	

		五年					六年				
月	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	時数	単元名/教材名/教科書ページ 学習内容 ★ここが大事/☆学習用語	領域	学習活動	評価規準 学習指導要領との対応	
	2 (話す聞 く1・ 書く1)	国語の学習 これまで これ から 教科書：P134 ■◇一年間の国語学習を振り 返ったり、これからの学習に ついて考えたりして、計画的 に学習できるようにする。	話・書	第1時 1. 学習の見通しをもつ。 2. 一年間の国語の学習を振り返り自分が学んできたことを、『五年 生で学ぶこと』を見ながら書き出したり話し合ったりする。 第2時 3. 6年生になったら1で出し合ったことがどのように広がっていく のか、想像したり希望を出し合ったりする。	【知識・技能】 ○話の構成や展開、話の種類とその特徴に ついて理解している。(〔知識及び技能〕 (1)力) 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、目的 や意図に応じて、日常生活の中から話題を 決め、集めた材料を分類したり関係付け たりして、伝え合う内容を検討している。(A ア) ◎「書くこと」において、目的や意図に応 じて、感じたことや考えたことなどから書 くことを選び、集めた材料を分類したり関 係付けたりして、伝えたいことを明確にし ている。(Bア) 【態度】 ・積極的に一年間の国語学習を振り返った り、これからの学習について考えたりし て、今までの学習を生かして計画的に学習 しようとしている。						